

南丹美術工芸パートナーズクール事業

9月24日(月)に亀岡市立吉川小学校の4~6年生35名が亀岡高校Ⅲ類の1年生27名と木版画を、10月9日(火)には南丹市立園部第二小学校の6年生59名が京都伝統工芸大学の教授や学生と彫刻に挑戦しました。

亀岡市立吉川小学校

4年生…木版画

物語「白いぼうし」の好きな場面からイメージを膨らませて絵を描き、それをもとに木版画を作りました。彫刻刀の扱いに苦戦する児童に、高校生たちが板を一緒に押さえるなどサポートを行いました。



5年生…絵画

物語「麦ほめに帰ります」の場面を想像しながら絵を描きました。高校生は全体の構図や登場人物のイメージを持たせるなど、アドバイスを行いました。



6年生…木版画

「思い出の〇〇とわたし」と題して自分と思い出のある風景や物を描き、木版画を作りました。

1グループ3~4人の児童に高校生1人が担当し、写真をもとに転写したそれぞれの顔のバランスや背景・物などのチェックを行いました。



南丹市立園部第二小学校



南丹市立園部第二小学校6年生の写真立ての彫刻作業が、この日をもって最終工程に入りました。

京都伝統工芸大学の教授と学生さんによる指導で、細い木枠に細かな彫刻を施していきます。難しいところは実際に彫って見せてもらいながらアドバイスをもらいました。



今回の「南丹美術工芸パートナーズクール事業」で制作された作品は、10月20日(土)~21日(日)に南丹市国際交流会館で開催する『第6回京都丹波美術工芸教育展』で展示します。今年の指定校は、亀岡市立吉川小学校、南丹市立園部第二小学校、南丹市立吉富小学校、京丹波町立下山小学校の4校です。



第6回京都丹波美術工芸教育展

日時 10月20日(土) 午前9時~午後5時

10月21日(日) 午前9時~午後3時

場所 南丹市国際交流会館